

令和7年2月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年2月分について、輸出額は「写真用・映画用材料」などが増加したもの、「自動車」、「自動車の部分品」、「ゴム製品」などが減少したことから、対前年同月比15.1%の減少となった。また、輸入額は「石油製品」などが減少したものの、「液化天然ガス」、「原油及び粗油」などが増加したことから、同6.7%の増加となった。

その結果、差引額は1,238億円（同27.5%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	791億円	▲15.1%	2,029億円	+6.7%	▲1,238億円	+27.5%
	7カ月連続の減少		2カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)写真用・映画用材料	36億円	+107.6%	輸入	増加品目	(1)液化天然ガス	399億円	+57.2%
		(2)鉱物性タール及び粗製薬品	38億円	+78.6%			(2)原油及び粗油	1,055億円	+3.4%
		(3)染料・なめし剤及び着色剤	32億円	+59.8%			(3)自動車	73億円	+47.0%
	減少品目	(1)自動車	39億円	▲76.6%		減少品目	(1)石油製品	87億円	▲29.7%
		(2)自動車の部分品	55億円	▲27.4%			(2)石炭	34億円	▲48.1%
		(3)ゴム製品	19億円	▲42.8%			(3)非鉄金属鉱	20億円	▲53.5%
	地域別動向	西欧、中東欧・ロシア等が減少、アジアは増加						アジア、北米が増加、大洋州は減少	

（参考）ドルレートは、154.61円（前年同月比4.3%、6.43円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。